



月刊名工研

No.868

2024年9月1日発行

※NMIRI : Nagoya Municipal Industrial Research Institute

とぴっくす

- 【特集】 Nagoya Musubu Tech Lab
令和5年度の活動紹介
- ・セミナー
 - ・Musubu会
 - ・成果報告・技術シーズ発表会
- 【お知らせ】 ・みんなのテクノひろば2024 行事報告



【特集】 Nagoya Musubu Tech Lab



Nagoya Musubu Tech Lab は、「人×技術×情報をむすぶ 名古屋発のものづくり」をコンセプトに、新たなものづくりをはじめる企業を支援する施設です。

- ・新製品、新技術開発による新事業展開を行っている企業
- ・新製品、新技術開発を目指す中小企業
- ・技術系スタートアップ企業

を対象に、セミナーや交流会など各種イベントを開催しています。ニーズ及びシーズ技術のマッチングや各種の試作・試験用の装置の利用も行っています。



デジタルサイネージへの企業紹介スライド掲載



展示スペースでの自社製品の展示

本年度、展示スペースを一新しました！

今後、利用登録企業の皆様に対し、展示物の募集を行う予定です。詳細が決まりましたら、HP やメールマガジンなどでお知らせします。また、ご関心のある企業の方は、後述の登録・利用方法をご参照ください。

■令和5年度の活動紹介

令和5年度に行った活動を紹介します。Nagoya Musubu Tech Labをご利用いただく参考にしていただければ幸いです。

◆セミナー

新たな製品を企画したい中小のものづくり企業やベンチャーの企業の方々に役立つ、最新の技術と新たなものづくりに成果を上げた事例をセミナー形式でご紹介する勉強会を実施しました。

○第1回 中小製造業で活用できる最新VR技術(令和5年7月27日(木))



座談会 中央:舟橋氏、左端:蟹江氏

「バーチャルリアリティの本質と最新動向」

名古屋工業大学 舟橋 健司氏

「製造業におけるVR技術の活用事例」

イクスアール株式会社 蟹江 真氏

の講演をいただき、その後に座談会も開催しました。またイクスアール株式会社から提供していただいたVRゴーグル体験会も併催し、参加者にVR技術を体感していただきました。

○第2回 できることから始める中小製造業向けIoT/DXセミナー(令和5年11月27日(月))

「作業者の状態計測に基づく工場のDXソリューション」

名古屋国際工科専門職大学 佐藤 省三氏

「中小企業のIoT/DXはセンサーを駆使した見える化で楽に」 久野金属工業株式会社 久野 功雄氏

の講演をいただき、その後にパネルディスカッションも開催しました。また株式会社マイクロリンクと株式会社名張ホールディングス、および名古屋市工業研究所のそれぞれIoTツールについて、利用体験会も併催し、参加者にIoT技術の利用を実感していただきました。



IoT ツールの利用体験

○第3回 自社シーズ技術の深化から生まれる新製品開発の道のり(令和6年2月21日(水))

「おもいのフライパンに息づく技術」

石川鑄造株式会社 石川 鋼逸氏

「木材問屋の戦略～若者のアイデアの集積～」

トキワランバテック株式会社 吉住 竜志氏

「ロッカーメーカーが挑む新しい商品のかたち」

アルプススチール株式会社 長谷川 茂氏

の講演をいただき、その後にパネルディスカッションも開催しました。また製品展示会(フライパン、キャンプ用品など)も併催しました。



製品展示

○第4回 「かおり・におい」の基礎(令和6年3月5日(火))

「かおり・においの基礎と測定・評価方法」

大同大学 岩崎 尊嗣氏

の講演をいただきました。自動車の車内、高齢者施設、食品業界などの用途でニーズが高いにもかかわらず、技術の確立・普及が遅れている“かおり・においの基礎と評価”を勉強し、新たなシーズ技術への展開の機会を設けました。



講演会 正面左:岩崎氏

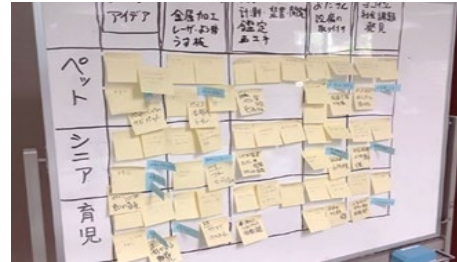
◆ Musubu 会

利用登録企業の方々に自由に参加いただき、講師や工業研究所職員と一緒に、協働による新製品開発を目指すべく、ディスカッションができる場として、“しゃべり場”というキャッチフレーズで Musubu 会を開催しました。皆様の考えを講師にぶつけていただきました。

○第 1,2 回 新製品開発に向けてロビン教授とともに考えるニッチ？リッチ？マーケット戦略講座
(令和5年5月25日(木)、7月24日(月))

講師:名古屋学芸大学 黄 ロビン氏

2 回に分けて、講義で紹介した「ペット」「シニア」「育児」という3つのカテゴリーの中で考えられる製品、商品のアイデアについて、「3・6・5 法」、「マトリックス法」をアイデア出しのツールとして利用したワークショップを開催しました。



ワークショップ時のパネル

○第 3,4 回 心理学・人間工学の視点で切り取り、ともに考える 分かりやすい・使いやすい製品へ

のアプローチ (令和5年8月25日(金)、9月29日(金))

講師:中京大学 藤掛 和広氏

2 回に分けて、製品に対する人間の特性、年齢、行動、生体計測などから得られる情報をもとに、人ともとの関係を調和させる人間工学的な開発・改良への考え方について講演いただきました。参加企業より自社製品3点の紹介や、自社サイトのデザイン相談事例を紹介いただき、それらの改良を目指して、グループトークを行いました。



グループトーク 中央右:藤掛氏

○第 5 回 素材。世代。掛け算で進める！ Musubu 会×学生×デザイナーで挑む防災アイテムづくり！
(令和5年10月25日(水))

講師:名古屋造形大学 清水 夏樹氏

講演では、企業が新規事業を立ち上げる際の効果的なチーム編成についてご提案をいただきました。防災士を目指す学生も参加し、熊本地震の避難所運営に携わった経験を持つ名古屋市工業研究所の波多野研究員より、その折に感じたことを紹介し、「避難所がこんなふうだったらいいな」というテーマでアイデア出しのグループトークを行いました。



Musubu 会の講義 中央:清水氏

○第 6 回 SDGs に貢献できる新分野開拓を目指す！生物多様性の製品づくり
(令和6年1月15日(月)) 講師:名古屋造形大学 清水 夏樹氏

なごや生物多様性センターの梶田聖和氏にも講演いただき、同センターと、環境保護に取り組む市民活動家と、参加企業とがチームを組んで、生物多様性保全に役立つ製品づくりのグループトークを行いました。様々な課題に対し、参加者同士のつながりを重視しながら、人と生物との良好な関係のための製品開発のアイデア出しに取り組みました。

◆ 成果報告・技術シーズ発表会

12 月には、Nagoya Musubu Tech Lab の成果発表会を行いました。Musubu 会を通じて成果につながった事例報告と、Musubu 会に参加された企業の方々が開発された技術シーズについて発表会および展示会を以下のように開催しました。

◎ Nagoya Musubu Tech Lab 成果報告・技術シーズ発表会“むすぶ”が紡ぐ名古屋イノベーション
(令和 5 年 12 月 7 日(木))

【基調講演】「製品から商品へ、バックキャスト型事業構想とデザイナーの活用による商品開発」

Office CWs 堀越 敏晴氏

【成果報告】

○「日本の風景を伝える香りづくり」 Studio N + Haya

令和 4 年度の Musubu 会のプレゼンでデザイナーの支援を受けながら商品開発をするという機会をもらった。「47 都道府県の香りづくり」にチャレンジしている。足助町の香りをイメージしたリフレッシュオイルや奈良の吉野の柚子をつかったディフューザーや染物などの商品化を手掛けている。

○「設備の IoT 化」 株式会社 中央製作所

2 年ほど前から Musubu 会に参加させてもらっていた。そこで三弘さんとお会いたした時に「三弘 IoT クラウド」という、Tech Lab に置いてある製品を紹介してもらった。メッキでは整流器の動きが重要なので、三弘さんの製品と掛け合わせて、稼働データの収集を PC に転送し、さらに担当者のタブレットに送り、稼働データを IoT に繋げる DX 化を推進する改善提案パッケージの検討を行っている。



発表会の様子



シーズ展示例(株式会社中央製作所)



シーズ展示会の様子

【技術シーズ発表】

会員企業が開発された技術シーズの紹介とそれとの Musubu 会との関りについて発表いただいた。

① 「ファインバブル発生装置」株式会社丸八ポンプ製作所

Musubu 会を通じて、多くの興味が持たれ、20 年ほど前に手掛けていたファインバブル発生装置製作を再立ち上げた。ファインバブル水の新たな市場も期待されている。

② 「プロサウンドの振動スピーカー」株式会社 SKR テクノロジー

人が通ると音がするような仕掛けのスピーカーなどどこでも利用できるスピーカーを手掛けている。

③ 「ロボット化に貢献する触覚センサー」株式会社太田廣

人間の手が持っている触覚情報を検出できる画期的なセンサーを開発した。

④ 「ステンレス板のデザイン加工」 株式会社鈴木鉄工所

自社の削り技術を生かしてステンレス製の二重薄板タンブラーに切子模様を再現し、製品化した。

⑤ 「IoT とクラウドを活用する仕組み」株式会社三弘

センサーや測定器からデータを収集してクラウド上にアップする IoT のモジュールとクラウド上のウェブアプリを独自に開発した。

◎登録・利用方法について

会員限定イベントである Musubu 会に参加いただくと、新しいアイデアや商品に繋がります。また、異業種の方との交流ができます。ぜひご登録・ご参加ください。

登録方法

- ①-1 Nagoya Musubu Tech Lab 専用ホームページの右上「会員登録」をクリック

HP: https://www.nmiri.city.nagoya.jp/musubu_lab/



専用 HP 右上部分

- ①-2 あるいは右下二次元コードから会員登録ページへアクセスください。

- ② 「会員登録完了までの流れ」をお読みいただき、登録フォーム

から必要事項をご記入いただき、お申込みください。

※手続きは「仮登録」と「本登録」の2回行う必要があります。

※自社技術のPRを希望すると、入り口にあるデジタルサイネージで企業紹介スライドを流すことができます。

- ③ 事務局から利用規約兼同意書をお送りいたしますので、所属の代表者様に同意書へご署名いただき、原本を郵送またはご持参ください。

利用方法

- ① 電話もしくはメールで利用予約をしてください。
- ② 予約の時間にお越しください。



二次元コード(会員登録ページ)

【お知らせ】

■一般公開「みんなのテクノひろば 2024」開催報告

毎年ご好評をいただいている当所の一般公開「みんなのテクノひろば 2024」を、令和6年8月14日(水)に開催しました。事前予約制で5つのものづくり教室を企画・実施しました。小学校4年生から中学生の方々に化学実験、電磁工作、AIなどを体験していただきました。初めての実験や製作に皆さん頑張ってくださいました(写真)。体験後のアンケートでは、「おもしろかった」「(科学を)知りたい」との多くの感想をいただき、科学やものづくりの楽しさを持ち帰っていただきました。ご参加いただいた方々に厚く御礼申し上げます。

当所では、当地域の中小企業などへの技術支援を行っております。このようなイベントを通して「ものづくり企業のパートナー」である当所を広く市民の皆様にご知っていただくよう、積極的にPRして参ります。今後とも当所をご活用いただきますようよろしくお願いいたします。



初めての実験器具にドキドキッ！

(編集・発行)

名古屋市工業研究所

〒456-0058 名古屋市熱田区六番三丁目4番41号

電話: 052-661-3161 FAX: 052-654-6788

URL: <https://www.nmiri.city.nagoya.jp> E-mail: kikaku@nmiri.city.nagoya.jp